

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和４年度第２回情報発信部会
開催日時	令和４年１１月９日（水） 午前１０時００分開会 午前１１時００分閉会
場所	Web 開催（佐渡島開発総合センター　１階　第１会議室）
議題	（１）１２月４日開催予定「脱炭素推進セミナー（仮）」の概要等 （２）効果的な情報発信手法の検討（第１回）
会議の公開・非公開	公開
出席者	東北電力ソーラーｅチャージ㈱ ㈱アドバンテック 佐渡汽船㈱ （一社）佐渡観光交流機構 ㈱第四北越銀行 MS 関東甲信越㈱ サンフロンティア佐渡㈱ （福）勇樹会 ＜事務局＞ ・佐渡市　総合政策課　地域エネルギー係　係長　渡部達也 総合政策課　地域エネルギー係　主事　北見航希 ・大日本コンサルタント㈱
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	０人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

1 開会

2 議題 1) 12 月 4 日開催予定「脱炭素推進セミナー（仮）」の概要等

- ・本セミナーは、佐渡のエネルギーの事情や「新潟県自然エネルギーの島構想」の中で目指している姿を市民に知っていただくことが目的である。ターゲットは市民だけでなく、事業者向けのお題も用意しているところである。
- ・東北電力ネットワークの講演テーマは難しい内容となる可能性が高いため、絵を多用するなど、平易なもので行うようにアドバイスをした方が良さだろう。
- ・市民の皆様に分かりやすいようにセミナーを検討する。

議題 2) 効果的な情報発信手法の検討（第 1 回）

- ・島外（来島者）向けのブランド戦略について、当社営業部に PR 推進室、コンセルジュ課があり、佐渡市の魅力を発信する事業を行っているため、ホームページ等を活用しながら、脱炭素化に関する事項についても発信していければと思う。
- ・ポイント①について、各社が持っているサービスを組み合わせながら進められると良いだろう。
- ・イメージポスターを作成いただき、当社の保育園に掲示することで児童や親御さん向けに普及啓発することは可能だと考えている。再エネに関する学習としては、ゆるキャラなども使いながら出張授業をしてはいかがかと思う。
- ・各企業の方向性がバラバラではいけない。佐渡市は「SDGs の未来都市」や「脱炭素先行地域」に指定されているため、これらの取組を連携させて、一体感のある取組を実施することが重要である。ポスターにこれらの取組が分かるロゴマーク等を入れるのも良いのではないかな。
- ・情報発信にあたっては、ターゲットを分けて、再エネや省エネの重要性について発信すると良さだろう。12 月 4 日開催のセミナーを再利用することで他の場所でも定期的に発信していければと思う。また、将来的なコスト削減に向けて目先のコスト負担への理解をいただく必要があり、それに向けた情報発信が必要である。小中学生については、SDGs に関する学習の機会が増えているが、このような教育活動を 1 番目にやる必要がある。ポイント③については佐渡市のポジショニングを明確にすることで、それに合ったサービスを展開するのが良さだろう。各事業者の様々なサービスを定期的に発信していくことが必要。
- ・積極的にされている企業とそうでない企業とのギャップはあるかと思う。佐渡市では脱炭素に関して企業へアンケート調査をしたと聞いているので、佐渡市の方から回答結果を共有いただけると参考になるのではないかな。
- ・新潟県では、EV の普及促進に向けて車両購入費の補助を実施している他、EV を使って観光地に訪れる際にインセンティブをつけるサービスを検討しているところである。
- ・情報発信部会はマスコミや新聞社からアイデアをもらうのが良いのではないかな。

・情報発信のためには、一体感のある取組が必要であること、事業者同士の連携が必要であり、脱炭素化に関わるプラットフォームのようなものがあるとよいとの意見があった。補助金情報だけでなく、企業同士のマッチングや、各社の取組を同一プラットフォームから市民向けに発信することにも使えるものになろうかと思う。次回、事例等もお示しさせていただきながら、継続してご意見をいただきたい。